

# 環境との共創共生

## 事業全体におけるサプライチェーンマネジメント(環境)

### 方針

大和ハウスグループは、資材の調達や施工などを行うことで、資材の原産地や加工場で働く人々、サプライヤーとその従業員、施工現場周辺の地域社会など、サプライチェーン全体にわたり、地球環境および多様な関係者に影響を与えています。そこで、こうした負の環境影響を低減していくためには、サプライヤーとの協働が不可欠だと考え、モニタリングやトレーニング、共同開発など、各フェーズでの連携を進めています。

2015年7月には、「調達基本方針」「CSR調達ガイドライン」を制定。「調達基本方針」では当社グループがQCD(品質・コスト・納期)に加えて、社会性・環境性についても配慮した調達を進めることを定めています。また、「CSR調達ガイドライン」ではすべての1次サプライヤーを対象に、人権・労働安全・環境保全など、社会性・環境性の包括的な基準を定めています。特に、化学物質管理と木材調達に関しては、具体的なガイドラインや評価基準を定めて、継続的なモニタリングを行っています。

#### ■ CSR調達ガイドライン(環境部分のみ抜粋)

##### (1) 取引先行動規範

5) 環境の保全	環境と共生し人が心豊かに生きる暮らしと社会の実現を目指し、「事業活動プロセス」および「商品・サービス」の両面において環境負荷の低減に努める。
----------	--

##### (2) 企業活動ガイドライン

5-1	環境関連法令の遵守と社会からの要請への対応	国内外の環境関連法令を遵守するとともに、国際社会やステークホルダーからの要請に応えることで、環境への負荷低減と貢献に努める。
5-2	気候変動への対応	商品・サービスおよび事業活動プロセス(調達・加工等)において、温室効果ガス排出量削減および省エネルギーを推進するとともに、自然エネルギーの活用にも努める。
5-3	省資源化の推進	商品のライフサイクル(生産・使用・廃棄等)において、「リデュース・リユース・リサイクル」の推進を通じて「省資源・長寿命化・資源循環」に努めるとともに、節水および水リスク管理の徹底により水資源保護に努める。
5-4	化学物質の管理	製品に使用される化学物質の情報を取引先と共有し、かつリスクの高い物質の使用を抑制することにより、ステークホルダーの健康および自然環境への影響の少ない製品の提供を図る。
5-5	生物多様性への配慮	持続可能な木材調達を通じた森林保護を推進するとともに、周辺環境との調和に配慮した街づくりや緑化に努める。

##### (3) 物品ガイドライン

- ①化学物質管理ガイドライン
- ②生物多様性ガイドライン【木材調達編】

関連ページ ▶ P186 ~ 188 CSR調達ガイドライン

### マネジメント

大和ハウス工業では、CSR調達ガイドラインの「取引先行動規範」において環境保全の取り組みに関する基本原則を定め、資材調達

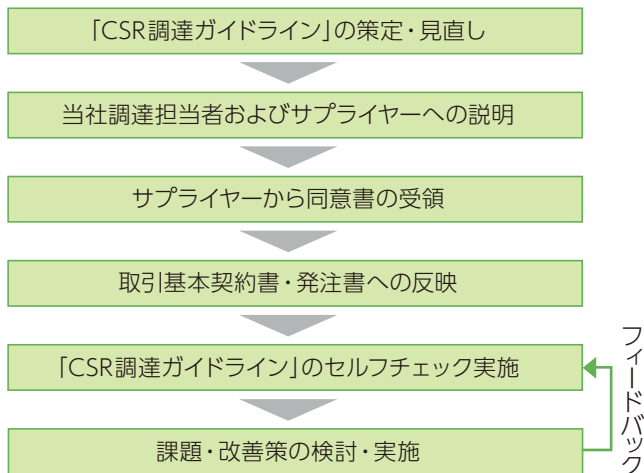
先である「トリリオン会」、生産・施工協力会社である「協力会連合会」、設備機器調達先である「設和会」という3つのサプライチェーンネットワークを通じて、環境への取り組みに関して協働しています。

### サプライヤーにおける環境方針の浸透

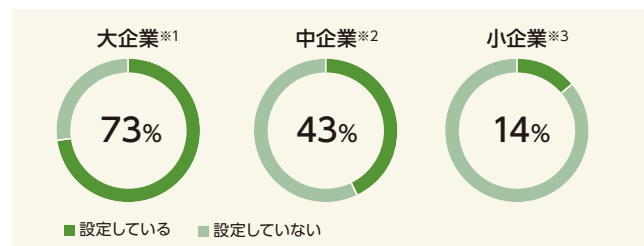
当社では、2015年度にサプライヤーに対して「CSR調達ガイドライン」の説明会を実施し、2016年度にはグループ会社5社(ロイヤルホームセンター、デザインアーク、大和リース、フジタ、コスモイニシア)でも、それぞれのサプライヤーに対して同様の説明会を実施しました。これらの説明会等を通じて調達段階における環境負荷低減および環境リスク低減の重要性についてご理解いただいたうえで、当社グループの「CSR調達ガイドライン」に対する同意書を受領しています。

また、サプライヤーが「CSR調達ガイドライン」の取り組みや進捗を確認できる仕組みとして、Webサイト上でセルフチェックを実施しています\*。なかでも環境に関しては、環境法令の遵守状況や、温室効果ガス排出量削減目標の有無などをチェックできる内容としました。サプライヤーによるセルフチェックの内容は当社とも情報を共有し、主要なサプライヤーについてはさらに詳しい取り組み状況のヒアリング等を通じて改善を図っていきます。

\*対象は、資材調達先、生産・施工協力会社、設備機器調達先。



#### ■ セルフチェック結果の一例 (CO<sub>2</sub>排出量削減目標を設定している割合)



\*1 従業員数300人以上(n=75)

\*2 従業員数50人以上300人未満(n=97)

\*3 従業員数50人未満(n=421)

関連ページ ▶ P66 CSRの取り組みにおける取引先への働きかけ

## サプライチェーンモニタリング

サプライチェーンにおけるリスクを発見するため、施工現場や工場における協力会社(すべての1次下請会社)に対し、廃棄物の処理などに関するチェックリストをもとに推進状況の把握やモニタリングを実施。問題があれば、その都度是正を行うほか再発防止のための改善活動を通じて管理体制を強化し、協力会社の従業員を対象に教育を行っています。

さらに、今年度より従来のセルフチェックでは把握できていなかった温室効果ガス削減施策の内容や実施結果、実績数値などを確認するため、主要サプライヤーに対してアンケート調査を実施しています。このアンケートでは1次サプライヤー自らの温室効果ガス排出目標に関する情報に加え、2次サプライヤーの温室効果ガス排出目標の設定状況も含めて把握しています。あわせて将来の水リスクに備えるため、取水・排水量や水に関するリスクの調査も行っています。

また木材調達については、当社の購入する物品の中でも環境・人権等に関わるリスクが高いことから、当社(購買部、商品開発部、設計施工推進部、マンション事業推進部)、およびグループ会社5社が管轄するサプライヤーに対して、年1回の「木材調達調査」を実施。木材の合法性および持続可能性についてモニタリングを行うとともに、基準に満たない木材の調達先に対しては、ヒアリングや是正依頼を行っています。

さらに、化学物質については、主要な建材について化学物質使用状況報告シートを提出していただき、ガイドラインに沿った内容かどうかをチェックしています。

今後は、各サプライヤーにおいて「CSR調達ガイドライン」に則り、環境に配慮した企業活動・製品供給を実施していただくため、具体的な基準を明確にしていくとともに、セルフチェックやアンケート調査の結果をふまえ、当社グループとサプライヤーが協働し、相互監査や情報共有を実施することにより、活動レベルの向上を図ります。

関連ページ ▶ P127 取引先を対象とした木材調達調査の実施  
P140 化学物質管理ガイドラインの運用

## サプライヤーへのサポート体制

当社では、サプライヤーの組織ごとに事務局を設け、運営をサポートしています。各サプライヤーは、当社の事務局と協働で年度ごとに重点テーマとプロジェクトを選定し、環境等への取り組みを推進しています。

トリリオン会では、2017年度より新たに会員企業による「研修研鑽活動」を実施しています。環境をはじめとする「ア・ス・フ・カ・ケ・ツ・ノ」をテーマに、会員各社からの講演依頼に応じたり、会員各社のオフィスや生産工場等を見学し、意見交換を行うこと等を通じて、環境方針の浸透や、環境への取り組みをサポートしています。協力会連合会では、施工現場の3R活動や省CO<sub>2</sub>施工などの環境負荷低減につながる改善事例を、コンテストや会員誌を通じて共有し、水平展開を図っています。設和会では、会員各社の環境などの新しい技術に関する商品技術展示会やセミナーなどを共催し、環境配慮技術の普及を進めています。

	サプライヤー(組織名)	会員数	主な取り組み
調達	資材調達先(トリリオン会)	241社	工場省エネ診断、設備更新、協働省エネプロジェクト
	設備機器調達先(設和会)	149社	環境配慮技術の共同開発、技術展示会・セミナーの開催
生産	生産・施工協力会社(協力会連合会)	4,663社	生産・施工現場での改善プロジェクト、優秀事例表彰

(2018年3月末現在)